

TOPICS ひまわり広場



まちのホットなニュースをお届けします！

皆さんの身近な情報や写真をお寄せください
 総務企画課情報防災グループまで
 電話662-4899

食べる人から作れる人へ お父さん達が料理に挑戦

2月4日、町社会福祉協議会主催の「男の料理教室」が保健福祉センターで開催され、男性20名が参加しました。日ごろ台所に立つ機会が少ないという参加者の皆さん。



調味料の量り方や火の調節に苦戦する場面もありましたが、町食生活改善推進協議会の皆さんの指導の下、ローストビーフ、酢みそ和え、わかめスープを完成させました。

参加者はすっかり自信が付いた様子で、「さっそく家で作って家族にごちそうしたい」とはりきっていました。



戸籍の窓口 2月届出分

つきたてのお餅、おいしいね♪



2月12日、町農業委員会主催の豊作祈願餅つきがなかやま保育園で行われ、年長児が参加しました。

「臼と杵を使っての餅つきは初めて」という園児がほとんどで、農業委員会の皆さんがお手本を披露すると、杵が振り下ろされるたびに歓

声をあげ、臼の中のもち米がお餅に変わっていく様子を興味津々で見学しました。

その後、実際に餅つきを体験。掛け声に合わせて、みんなで協力してお餅をつきあげました。ついたお餅は納豆餅にして振舞われ、園児たちはつきたてのお餅を「つやつやしてきれい」などと感想を述べ合いながら、嬉しそうに味わっていました。



おいしくって
思わずバンザイ♪

元気に豆まき



2月3日、なかやま保育園で節分行事の豆まきが行われました。

園児たちは、園長先生の「鬼をみんなの心の中にいる泣き虫鬼や弱虫鬼と思って、勇気を出して退治してください」という呼びかけに元気よく返事をし、中庭に現れた赤鬼と青鬼に一斉に駆け寄り、「鬼は外！」と豆を投げつけて退治していました。

泣きたいのを堪えて勇敢に鬼に豆を投げつける園児や、テレビに出てくるヒーローの技で鬼を追い払おうとするユニークな園児もいて、にぎやかな節分行事となりました。

松島で特産物をPR



2月2日、宮城県松島町で行われた「第36回松島復興・未来かき祭り」に町観光協会が出店し、「芋煮会発祥の地」である中山町をPRしました。町では、一昨年から松島町との物産交流を行っており、今回もその一環で参加しました。

冷え込みの厳しい1日でしたが、会場には旬のかきや各地の特産物を目当てに約5万人が集まり、大変なにぎわいをみせていました。

中山町で出品した芋煮と玉こんにゃくは見事完売。寒空も手伝って、「芋煮会発祥の地」のあたたかい芋煮は、特に人気だったようです。

旧正月恒例 だんご木市

2月13日、役場前の上町通りを会場に、町観光協会が主催する旧正月恒例のだんご木市が開催されました。

だんご木とは、木の枝を縁起物の船せんべいや団子で飾り付け、厄除けや家内安全等を祈願するものです。

会場には、ピンク、白、黄色などカラフルに装飾された華やかなだんご木をはじめ、農産物、焼きそば、綿菓子などを売る店が立ち並び、買い物客でにぎわいました。また、お楽しみ抽選会や「まつりふるまい鍋」の振る舞いもあり、訪れた人は買い物の合間に冷えた体を温めていました。



まちの人口 (2月末現在)

人口 11,984人 (前月比-4人)
(男5,848人、女6,136人)

世帯数 3,616世帯 (前月比+1世帯)

人の動き (2月届出分) 出生5人 転入15人
死亡12人 転出12人